

111

演題 シャロームからのラブレター

副題 地域をつなぐお弁当

法人名 社会福祉法人三育福祉会

施設名 特別養護老人ホームシャローム

発表者名
(職種)

共同発表者

共同発表者

共同発表者

共同発表者

都道府県 神奈川県

住所 神奈川県横須賀市走水1-35

TEL 046-842-1031

FAX 046-842-1324

メールアドレス shalom@yokosuka-shalom.jp

URL https://www.yokosuka-shalom.jp/

今回の発表施設
またはサービスの
概要特別養護老人ホームシャローム108名、ショートステイ12名、ケアハウス20名
在宅ケアセンター(デイサービス、施設入浴、訪問介護)
地域包括支援センター・居宅介護支援センターを併設

《取り組みの課題》

当施設では横須賀市の委託事業として、在宅高齢者向け配食サービスを25年間にわたり実施してきたが、平成30年度市の政策転換により委託終了となった。

しかし、当施設のある横須賀市大津・浦賀地域の在宅高齢者の自立生活支援・介護予防のための配食サービスの必要性は高い状況であった。

《具体的な取り組み》

・地域のニーズに応えるため、平成31年度(令和元年度)より当施設が主体となり、配食サービス「シャローム 手作りフレあいお弁当」として継続した。
・公的な助成が得られない中、弁当の内容や栄養価を維持できる最小限の価格改定を行った。
・地域包括支援センターや居宅介護支援事業所、民生委員を通じてご利用者の拡大に努めた。
・コロナ禍における感染対策をしながら事業を継続した。
・メニューを記載した日々のお便り「ラブレター」とともに、お弁当を手渡しで配達している。

《活動の成果と評価》

・委託事業終了後、ご利用者は一旦大幅に減少したものの、現在少しずつ増加してきている。
・ご利用者の継続率は高く「いつもありがとう」「美味しくいただいています」など感謝の言葉を頂いている。
・配達は原則手渡しのため、ご利用者の安否確認や様子の変化に気づけば民生委員に繋ぐなど、セーフティネットの役割を担っている。
・配達スタッフは、有償ボランティアやアルバイトの大津地域の60~80歳代の元気な皆様。ご利用者やスタッフ仲間と日々顔を合わせ、配達業務が「生活ノハリ」「生きがい」「フレイル予防」につながっている。

《今後の課題》

①健康支援型配食サービスとして療養食の強化
②福祉の配食・共生社会の配食をアピール、認知度の向上
③採算性の向上
④配達スタッフの確保
⑤感染症との共存 感染者宅への配食のニーズ有